

うち合格者9,029名で、合格率は89.0%（前年は90.5%）であった。

IV. 退任記念式典

平成30年1月31日（木）午後2時から大学1号館講堂において開催した。

宇都宮一典 教授（内科学講座：糖尿・代謝・内分泌内科）演題：「私の歩んできた道—糖尿病合併症の抑制を目指して」

池上 雅博 教授（病理学講座）演題：「大腸癌の発育進展と粘膜下層浸潤癌の取り扱い」

各分野で活躍された2名の教授の含蓄ある講義に学生及び教職員一同が大変感銘を受けた。次いで竹森 重次期教学委員長から同じく定年退任される10名の鈴木直樹教授（高次元医用画像工学研究所）、本間 定教授（悪性腫瘍治療研究部）、鈴木正章教授（病理学講座）、大野岩男教授（内科学講座：総合診療内科）、加地正伸教授（大学直属）、木村直史教授（医学教育研究室）佐々木敬教授（臨床医学研究所）、磯西成治教授（産婦人科学講座）、関根 広教授（放射線医学講座）、斎藤三郎教授（分子免疫学研究部）が紹介され、松藤千弥学長より長年の大学への貢献に謝辞が述べられ記念品を贈呈した。また、同窓会、保護者会、医学科学生会より記念品の贈呈があった。

退任記念講義終了後、退任される教授を囲んで退任記念パーティーを「東京プリンホテル プロビデンスホール」にて開催した。会場には、教職員、同窓、学生など250名を超える参加があり、盛大なうちに会は終了した。

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は、看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員原則4名をもって構成され、定例として毎月1回開催されている。

教学委員は以下のとおりである（平成30年度は委員5名で構成）。

平成30年4月～平成31年3月

教学委員長 田中 幸子

教学委員 中村 美鈴、高橋 衣、細坂 泰子、梶井 文子、嶋澤 順子

2. 教学関連の主な事項

- ① 平成30年度は、1年生60名、2年生61名、3年生59名、4年生59名で新学期を迎えた。
- ② 平成30年度オリエンテーションは、4月3日から13日にかけて実施した。カリキュラムや学生生活上の注意などの説明の他、キャリア支援に関するシンポジウム、健康診断やカルト教団、飲酒に関する注意喚起も並行して行われた。また、医学科新入生と合同で、スタートアップ研修や救急蘇生実習を行った。
- ③ 4月7日、学生が自身の知識獲得状況を確認し、今後の学修課題を明確にすることを目的として、2～4年生を対象に科目横断総合試験を実施した。
- ④ 5月12日、看護学科4年生と医学科5年生による、医療倫理に関する共修演習を実施した。
- ⑤ 6月14日、学生、教学委員、学生委員、カリキュラム委員会合同会議を開催した。
- ⑥ 6月30日、全学年の保護者を対象に、学生に関する情報交換会を開催した。
- ⑦ 次の期間に定期試験を実施した。
前期 6月23日、7月20日、8月20日～8月23日、9月10日～9月13日
後期 12月17日、1月28日～2月4日
- ⑧ 8月25日、26期生の「看護への思いを新たにする式」を、挙行した。
- ⑨ 10月13日、学祖高木兼寛先生の墓参に、学生代表が参加した。
- ⑩ 英国キングスコレッジロンドンと慈恵間で行われる交換留学について、9月24日～10月12日に4年生1名がセントトーマス病院で3週間、KCLの2年生2名が第三病院、本院で4週間臨地実習を行った。
- ⑪ 10月28日、解剖諸霊位供養法会が行われ、4年生が参加した。
- ⑫ 11月17日、4年生の看護研究発表会を開催した。

- ⑬ 12月20日、村上穰史による講演会「慢性腎臓病とともに生きる－腎臓内科医が腎移植を受けてわかったこと」を開催した。
- ⑭ 12月、文部科学省に平成31年度改正カリキュラムの申請を行い、2月に承認された。
- ⑮ 2月28日、4年生の技術補完演習を実施した。
- ⑯ 3月2日、医学科と合同による卒業式が西新橋キャンパスで行われ、24期生55名、23期生4名の計59名が卒業し、慈大賞、同窓会賞、日本私立看護系大学協会会長賞がそれぞれ贈られた。
- ⑰ 3月6日、兼担教員、非常勤講師を交え、講師会を開催した。
- ⑱ 3月3日～11日、3年生11名が米国オレゴン州ポートランドの看護研修に参加した。
- ⑲ 3月11日～15日、シンガポール国立大学に、2年生2名が訪問した。

II. 入学試験

1. 平成31年度入学試験は、平成31年2月10日に一次試験（筆記試験）を、2月13日に二次試験（面接）を実施した。志願者は460名、入学者は60名であった。入学者の内訳は次のとおりである。
 - ① 女子 59名、男子 1名
 - ② 現役 56名、1浪 3名、2浪 1名
 - ③ 地域別（高校所在地別）入学者数

北海道	1名
埼玉県	5名
東京都	44名
神奈川県	7名
山梨県	1名
静岡県	2名
2. 平成30年度オープンキャンパスは、7月21日、22日の2日間開催し、それぞれ464名（昨年比+59名）、563名（昨年比+14名）、計1027名であり、昨年度より73名多い参加者であった。この他、10月27日フェアブル祭に合わせて、大学説明会を実施した。参加人数は216名（前年比+30）であった。
3. 受験生の確保を目的として、学外で開催された大学進学ガイダンス等に、教員・学事課職員が参加した。

III. 国家試験

第108回看護師国家試験は平成31年2月17日に、第105回保健師国家試験は2月15日に実施され、その結果が3月22日に発表された。結果は下記のとおりである。

看護師 59名受験（既卒0名）、59名合格 合格率 100.0%（全国平均89.3%）

保健師 20名受験（既卒1名）、20名合格 合格率 100.0%（全国平均81.8%）

IV. 学生生活アドバイザー

1、2年生を対象とし、比較的若手の教員が5～6名の学生を担当し、前期、後期にそれぞれ交流活動を行う他、適宜活動を自由に行った。学習や生活上の悩みなど、問題を早期に把握する手段として有益であった。

V. 進路指導関係

本年度は、指導対象学年を3年生からにするなど、早期の取組を行った。

平成31年3月卒業生59名の進路の内訳は、次のとおりである。

本学附属病院への就職	40名
進学	3名
保健師として就職	2名
他病院	14名

VI. その他

1. 看護学科、大学院が、附属病院、地域住民、地方自治体、地方の保健医療福祉機関と連携し、地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える活動を組織的に展開することを目的とし、地域連携看護学実践研究センター（JANPセンター）を開設した。平成31年3月30日に、キックオフミーティングを開催した。